ナゴキネ 疾患情報 マイコプラズマ感染症

小児のマイコプラズマ感染症とは

呼吸器感染症、特に「マイコプラズマ肺炎」を引き起こす「肺炎マイコプラズマ」という細菌によるものです。主に咳やくしゃみから放出される微細な飛沫を吸い込むことで感染する飛沫感染や接触感染を通じて広がります。

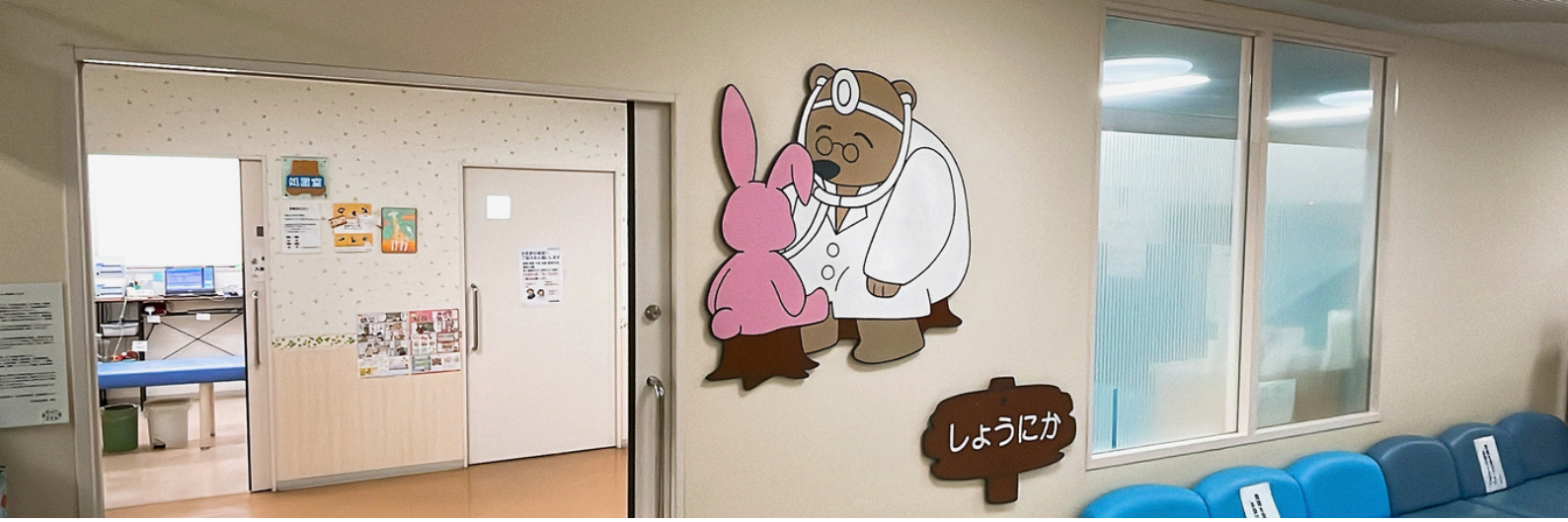
症状

感染後、通常2～3週間の潜伏期間を経て、以下のような症状が現れます。

- 発熱
  多くの子どもが発熱しますが、時には発熱がない場合もあります。
- 咳
  最初は乾いた咳が見られ、数日後に悪化することがあります。
  咳は1か月以上続くこともあります。
- 全身症状
  倦怠感、頭痛、喉の痛み、発疹や下痢や嘔吐などの症状が現れることもあります。

診断

臨床症状に基づく初期評価と検査によって診断いたします。
迅速検査や血液検査での抗体の測定が行われることもあります。
当院では、最も信頼性がある検査としてマイコプラズマのDNAを検出するPCR検査を実施しています。この検査の利点は抗菌薬に効果を示さない耐性の有無も判明します。状況により、胸部エックス線検査や状態評価のための血液検査を行うこともあります。



治療法

自然軽快も見込めますが、抗菌薬を使用します。
マクロライド系抗菌薬（クラリスロマイシン、アジスロマイシンなど）が第一選択となります。
マイコプラズマの中にはマクロライドが効きにくい耐性を獲得したものがあり、マクロライド系抗菌薬の内服後も無効な場合、8歳未満はトスフロキサシン、8歳以上であればミノマイシンを使用します。
当院で行っているPCR検査は、マクロライド耐性の有無も検出できることから、診断のみではなく治療開始前に抗菌薬の選択にも有用です。

まとめ

小児のマイコプラズマ感染症は、主に呼吸器症状を引き起こし、時には重篤な合併症を伴うことがあります。
早期の診断と適切な治療が重要であり、特に発熱がない場合でも注意が必要です。
感染が疑われる場合は、医療機関での評価を受けることが推奨されます。

#HOSPY
ナゴキネ
名古屋記念病院

所在地： 〒468-8520　名古屋市天白区平針4-305
電話番号： 052-804-1111（代表）
サイト： https://www.hospy.or.jp/kinen/

ホームページ
NAGOYA_KINEN1985
Instagram
YouTube